



自分の避難行動がわかる「マイタイムライン」を作ろう

令和元年東日本台風では、川崎市で約33,150名の方が避難所に避難されたといいます。いざというときは心の準備がないのでパニックを起こしたり、慌ててしまいがちですが、一人ひとりの避難に備えた行動をあらかじめ決めておけば、冷静な行動がとれます。特に風水害は天気予報から、ある程度の予測が立つの、数日前からの段取りを考えることができます。「マイタイムライン」は、風水害から身を守る、自分や家族、一人ひとりのための避難計画。避難する場所やタイミング、用意するものなどそれぞれの立場で作ります。小学生から大人まで誰でも作ることができるので、個々で作ったものを家族で共有するといいでしょう。

- ワークショップのポイント
 - ・風水害から身を守る「自分の避難行動」がイメージできる
 - ・家族で共有しやすい
 - ワークショップのやりかた
 - ・川崎市のHPから作成シートをダウンロードして、記入する
 - ・家族やグループで共有して、ポイントを確認し合う

